

## 会議結果報告書

令和5年4月21日

1 会議日時	令和5年4月4日
2 場 所	議員全員協議会室
3 件 名	令和5年度人口減少対策プロジェクトについて
4 出席者	市長、副市長、教育長、各部長級職員、総務課長、財政課長、政策推進課長、政策推進課関係職員
5 会議結果	<p><input checked="" type="checkbox"/> 案のとおり決定する</p> <p><input type="checkbox"/> 一部修正の上、決定する</p> <p><input type="checkbox"/> 継続して検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 案を否決する</p> <p><input type="checkbox"/> 報告を了承する</p>
6 会議内容	<p>●部会に選出する職員数は、各課1名以上とするが構成数は部長に一任する。</p> <p>●各部会の開催について、時間外手当や休日振替については再度、関係課と協議を行う。</p> <p>●部長や支所長においては、部会の頻度や時間等について全体的なコーディネートと進捗状況の確認を行う。</p> <p>●行政全般業務に携わる支所からの提案については、各支所の視点で考え、地域づくり活動センターの職員とも連携し、取り組むこと。</p>

備考：会議内容を簡潔に記載すること

1 件名	令和5年度人口減少対策プロジェクトについて
2 目的	人口減少及び少子化対策は、国においても重要施策に位置づけ展開が検討されていることから、昨年に引き続き、人口減少に特化した全庁的なプロジェクトを立ち上げ、関係基礎資料の把握や課題分析等により対策事業の検討を行う。
3 効果	既存事業の見直しやオーダーメイド事業の発掘につながり、全庁で取り組むことで人口減少に関わる対象を広げ、総合的にパッケージ化した事業展開が期待できる。
4 現状と課題	西予市人口ビジョンでは2060年の目指す人口を約20,000人としているが、R4.9.9愛媛県公表の当市の同時期人口は約12,000人であり、基礎数値の取り方が違うものの厳しい状況である。当市の婚姻件数や出生数は年々減少しており、毎年約200人の転出超過が続いている。
5 対応	部・支所を単位とする部会においてアイデアや方策を抽出し、部会のリーダー1名が参加した全体会で共有や連携、ブラッシュアップを検討する。担当課において内容が整い次第、予算協議を経て事業を進める。
6 スケジュール	令和5年5月～令和6年3月末
7 関係法令等	—
8 関係課	全庁
9 予算関連	—
10 総合計画の位置づけ	I 総論 3 未来に向けて解決すべき市の重要課題
11 その他	

# 令和5年度 人口減少対策プロジェクト

「選抜PT」による少子化対策から

「全庁的」な人口減少対策の取り組みへ

# 1 令和4年度PTを終えて

## (1) 良かった点、改善点 (PT個人意見含む)

- 役所思考に縛られないアイデアが出た。
- 業務に関わる職員がいたので現状把握や実行までがスムーズだった。
- PTの業務負担が大きく、PTに参加するメリットが見えなかった。
- 事業を実現させるため、現実的な予算が分かった上での提案としたかった。
- PTが検討すべき内容、事業課の受け入れ方 (事前周知)、戦略会議での取り扱い方が不明確だった。
- 班協議と全体協議の場が十分にあれば、更にいろいろな視点や角度からの考え方を取り入れることができた。
- 若手からの提案はナイスだが、良くも悪くも保守的だった。事業課との調整が大変だった。

## (2) 来年度以降について (PT個人意見含む)

- 新しい人からの様々なアイデアをどんどん出して進めるのが良いのではないか。
- 提案した立場つとして責任を持ち関わっていくべきだと考えるが、本来の業務も兼ねている状況では大変。
- R5制度設計とした事業は、今後、事業課とPTの『思いのすり合わせ』が必要だと思う。質問等には対応していきたい。

選抜メンバーの負荷が大きい・事業課との調整に時間がかかる

令和5年度は「選抜PT」による少子化対策から  
当事者意識をもった「**全庁的**」な**人口減少対策**の取り組みへ

## 2 全庁的検討の必要性

### ①狭義と広義の対策

#### 両輪で推進することが出生率回復に寄与する

中京大学 松田茂樹教授

狭義：結婚、出産、子育て支援      広義：定住策、住宅、企業誘致、産業（地方創生にかかわる施策）

POINT① 子育ての目玉施策であっても、全対象者をカバーし環境全体を改善することは困難

➔ 住民のバリエーションに合わせた幅広い対策メニューが必要

POINT② 人口規模が小さい自治体では定住促進が課題

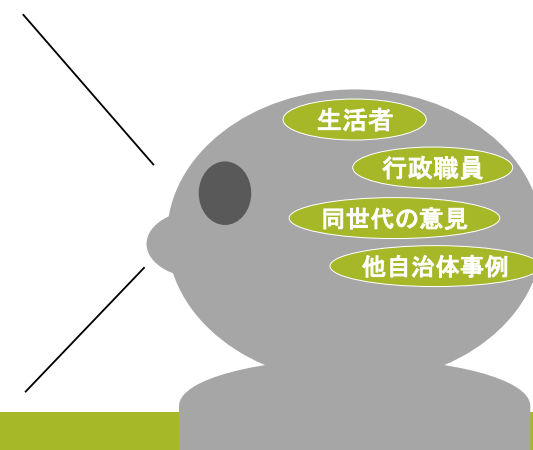
➔ 転出者抑制のためにも、雇用創出と若い世代への住宅・定住支援等が大切

総合的にパッケージとして実施することが有効

### ②幅広く多様な視点で当事者意識をもった人口減少（少子化）対策の検討を

例えば・・・

- ・市外から関心をもってもらう（暮らしたくなる）ために
- ・結婚・出産を望む方のために
- ・子育て世代が今より安心して生活するために
- ・小中高生が西予市に誇りを持ち、つながり、いずれ西予に戻ってくるために
- ・若年層が求める仕事や職場、求職の環境づくり
- ・産業の付加価値や後継者を増やすために
- ・若い世代も老後安心して暮らせる支援やサービス等
- ・結婚や育児へのマイナスイメージや不安を解消するために



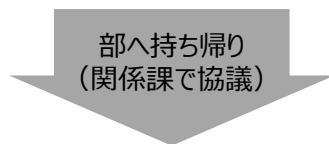
### 3 令和5年度の体制

事務局	政策推進課
任命方法	市長からメンバーに任命書交付
任命期間	令和5年5月1日～令和6年3月31日
2部構成	<p><b>部会（部・支所内協議※）</b>：部内構成メンバーは部長一任 ※部・支所で進行、運営</p> <p><b>全体会</b>：部会メンバーからリーダー1名が参加</p>
検討手法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>部会</b>で現状確認、課題分析し、<u>アイデアや方策を抽出する</u></li> <li>2 <b>部会</b>の抽出内容を、<b>全体会</b>で<u>共有し、連携やブラッシュアップを検討する</u></li> <li>3 <b>全体会</b>の内容を<u>持ち帰り、関係課で協議し結論を出す</u></li> <li>4 調整が整い次第、予算協議を経て事業課より戦略会議に付議（付議要件に該当するもの）</li> </ol>
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>部会</b>協議は、部・支所に関連することを優先とするが限定しない。</li> <li>・共通認識のポイント</li> </ul> <p><b>人口減少を緩和する対策を考える</b></p> <p>既存：効果・効率アップ、業務減、低予算に着目すること</p> <p>新規：重点化事業として位置づけ、予算協議を経て予算化</p> <p>事業に至らない事柄：少しの創意工夫で効果や改善が期待できることも考える</p>

# 4 令和5年度の構成図

## 全体会

- ・12名（部会からリーダー1名が出席）
- ・共有、連携やブラッシュアップを検討する



## 部会（部・支所内協議）

・現状確認、課題分析、アイデアや方策を抽出

### ① 総務部

- ・ 総務課
- ・ 危機管理課
- ・ 税務課
- ・ 財政課
- ・ 会計課
- ・ 議会事務局
- ・ 監査事務局

### ② 政策企画部

- ・ まちづくり推進課
- ・ 政策推進課

### ③ 生活福祉部・福祉事務所

- ・ 市民課
- ・ 人権啓発課
- ・ 環境衛生課
- ・ 健康づくり推進課
- ・ 福祉課
- ・ 子育て支援課
- ・ 長寿介護課

### ④ 産業部

- ・ 経済振興課
- ・ 農業水産課
- ・ 林業課
- ・ 農業委員会

### ⑤ 建設部

- ・ 建設課
- ・ 上下水道課

### ⑥ 医療介護部

- ・ 市民病院
- ・ 野村病院
- ・ つくし苑
- ・ 医療対策室

### ⑦ 消防本部

- ・ 消防総務課
- ・ 防災課
- ・ 消防署

### ⑧ 教育部

- ・ 教育総務課
- ・ 学校教育課
- ・ まなび推進課

### ⑨ 明浜支所

- ・ 地域生活課
- ・ 産業建設課

### ⑩ 野村支所

- ・ 地域生活課
- ・ 産業建設課

### ⑪ 城川支所

- ・ 地域生活課
- ・ 産業建設課

### ⑫ 三瓶支所

- ・ 地域生活課
- ・ 産業建設課

# 5 令和5年度のスケジュール





## 6 目標値（一部）

### （1）年間出生数 200人へ

※市長新年あいさつより  
 ※第2次総合計画 R6年度目標180人  
 ※R3年度出生数 164人

### （2）社会減（転出超過）の改善

※第2次総合計画 R6年度目標△169人  
 ※RESAS 過去10年平均△194人

### （3）2025年の想定人口 33,886人

※第2次西予市総合計画より  
 ※2022年12月末時点 35,232人

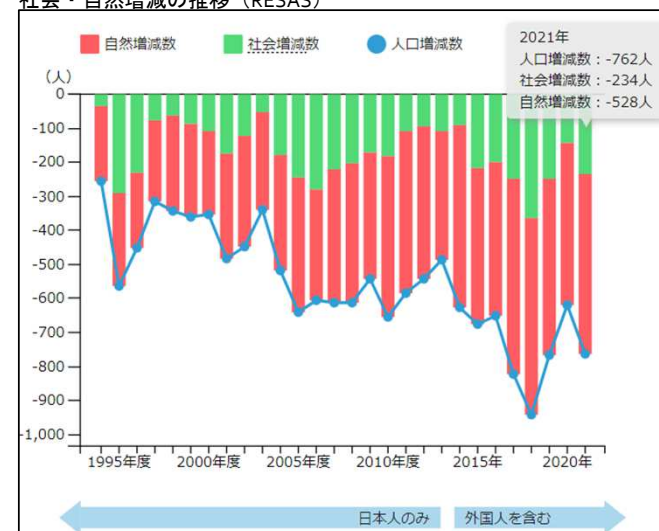
参考②	旧町別人口推移（高位推計）			
-----	---------------	--	--	--

資料：第2期西予市人口ビジョン

	2015年	2019年 (12月末)	2025年	減少率
明浜町	3,560	3,056	2,634	-26.0%
宇和町	17,291	16,613	15,945	-7.8%
野村町	8,846	7,752	6,801	-23.1%
城川町	3,625	3,214	2,738	-24.5%
三瓶町	7,226	6,613	5,768	-20.2%
計	40,548	37,248	33,886	-16.4%

単位：[人]

社会・自然増減の推移（RESAS）



■市内現状については、「令和4年度PT 基礎資料一覧」を参照■  
 未婚率の推移、婚姻件数と年齢、初産婦データ、出生数、市内中学生の進学状況、昼夜間人口比率、世帯平均輸入等を整理しています。